

は る な こ は る な さ ん
榛名湖・榛名山



じょうもう のほ はるな むら ふだ し
上毛かるた「登る榛名のキャンプ村」の札でも知られる

はるなさん あかぎやま みょうぎさん じょうもうさんざん よ
榛名山は赤城山・妙義山とともに上毛三山と呼ばれています。

はるなさん き えふだ えが
「榛名山」と聞くと、かるたの絵札にも描かれている

はるな ふじ おも う ひと おお おも
榛名富士を思い浮かべる人が多いと思うけど、じつは

はるなさん やま なまえ
「榛名山」はたくさんの山をまとめた名前なんだよ。



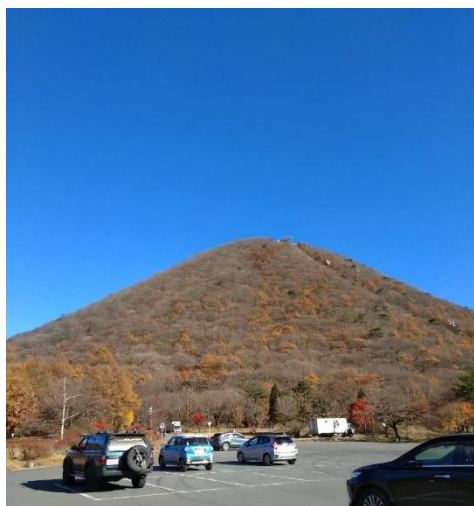
いちばんたか やま か も ん が た け たか
一番高い山は**掃部ヶ岳**とって、高さは
1,449 メートルあります。四季折々の自然を
たの 楽しむえます。



は る な ふ じ たか ふ じ さ ん
榛名富士 (高さ 1,391 メートル)は、かたちが富士山
に似ているためにそう呼ばれています。山頂とロープウェイ
でつながっているの、かんたん ちょうじょうちか のぼ
でつながっているの、簡単に頂上近くまで登ることがで



きます。このロープウェイは2両連結のゴンド
らで、にほん めずら さんちょう
らで、日本では珍しいかたちです。山頂からは
は ふ じ さ ん み
晴れていれば富士山を見ることができます。



よま
ほかにはどんな山
があるのだろうか？



かざん めぐ 火山の恵み

はるなさん なんと ふんか げんざい すがた
榛名山は何度も噴火をくりかえし、現在の姿になりました。

ふんか せいき さいご お はるなさん いま
噴火は6世紀ごろを最後に起こっていませんが、榛名山は今
でも活火山に分類されています。



▲湖になる前はどんな場所だったのかな？

はるなこ はるなさん
榛名湖は、榛名山

ふんか
の噴火によってで

おお
きた大きなくぼみ

みず
に、水がたまってで

みずうみ
きた湖です。はじ

おお
めはもっと大きな

みずうみ ふんか
湖でしたが、噴火

いまま おお
によってかたちをかえて、今の大きさになりました。かつて

みずうみ げんざい ぬまのはら しつげん
湖だったところは現在、沼ノ原という湿原になっています。

また、^{はるな こおんせん} 榛名湖温泉や^{い か ほ おんせん} 伊香保温泉は、

^{はるなさん} 榛名山の^{かざんかつどう} 火山活動によって^{けいせい} 形成された

^{おんせん} 温泉です。

^{かざん} 火山が^{ふんか} 噴火すると、^{とき} 時に^{おお} 大きな^{さいがい} 災害

^お が^{おお} 起こり、^{ひと} 多くの^{こま} 人が^{こま} 困ることがあり

^{いっぽう} ます。しかし、その^{かざん} 一方で、^{ちから} 火山の^{ちから} 力

によって^{けしき} きれいな^{とくべつ} 景色や^{ちけい} 特別な^{おんせん} 地形が^う できたり、^{おんせん} 温泉が^う 生ま
れたりすることもあるのです。



▲伊香保温泉石段



▲「上野国榛名山真図」1888(明治21)年

群馬県立図書館所蔵・群馬県立図書館デジタルライブラリー

まめちしき

はるなこはん たいしょうじだい かつやく
榛名湖畔は、大正時代に活躍し

が か たけひさゆめじ あい けしき
た画家の竹久夢二が愛した景色

ゆうめい
としても有名だよ。

まめちしき

まんようしゅう はるなこ
万葉集には榛名湖を、

い か ほ ぬま よ
「伊香保の沼」と詠んだ

うた
歌があるよ。

まめちしき

むかし ふゆ はるなこ じょう
昔は冬になると、榛名湖にスケート場がで

きたよ。こおり うえ ひと う
氷の上が人で埋めつくされるほどに

ぎやかだったんだ。



はるな み くさばな 榛名で見られる草花

はるな こしゅうへん あき
榛名湖周辺では5月ごろから秋ごろまで、サクラやツツジ

(5~6月)、マツムシソウ(8~9月)など、たくさんの植物

をみることができます。とく なつ ゆうぐ さ はじ
特に、夏の夕暮れごろに咲き始め、

よくじつ そうちよう ゆうめい
翌日の早朝にはしぼんでしまうユウスゲは有名で、「ゆうす

げのみち せいび
げの道」というハイキングコースも整備されています。

榛名で見られる生きもの

榛名湖にはさまざまな生きものがすんでいます。その多くはほかの場所から持ち込まれたものです。たとえば、ワカサギは1927(昭和2)年に初めて放流され、コイは第二次世界大戦が終わったあとに入ってきました。一方、ブラックバスは本来日本にはいませんでしたが、一部の人が釣りを楽しむために、1974(昭和49)年ごろに許可を得ずひそかに放流した魚です。

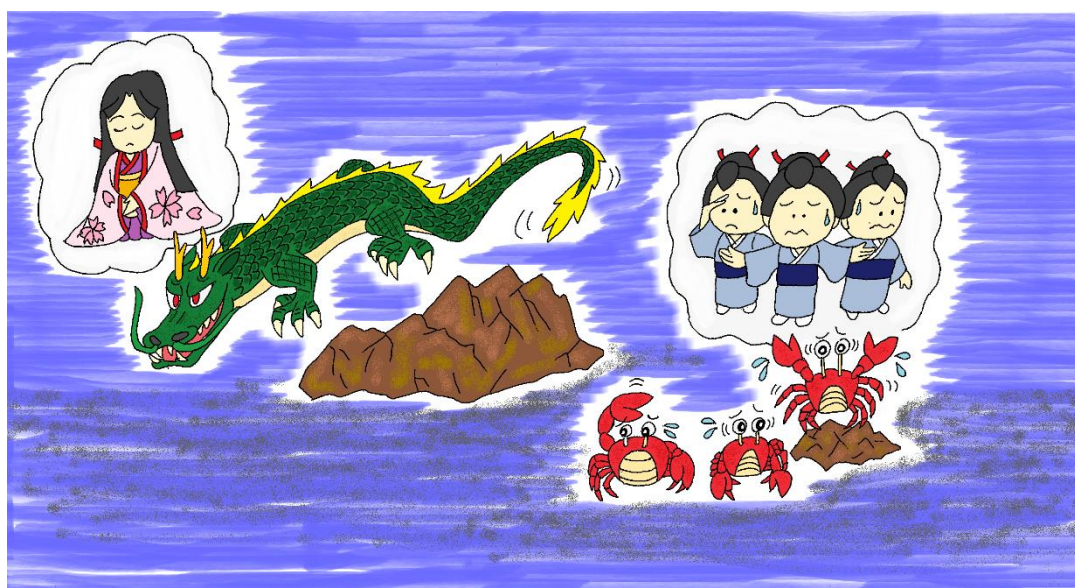
湖の上には、水鳥がたくさんいます。冬に多く見られる水鳥はホシハジロです。

タヌキやリス、カモシカなどの動物も、榛名山の自然の中で暮らしています。生きものたちが住む場所を大切に、いつまでも暮らせる環境を守っていきましょう。



はるなさんのこのでんせつ 榛名山に残る伝説

その1 はるなこ しず ひめさま 榛名湖に沈んだお姫様



ふね みずうみ で とつぜん ひめさま みずうみ み な
舟で湖に出ていたとき、突然お姫様が湖に身を投げまし
た。

おどろ じじよ ひめ あと お みずうみ と
驚いた侍女たちは姫の後を追って湖に飛びこみます。

ひめさま だいじゃ りゅう すがた か じじよ かに
そののち、お姫様は大蛇や龍に姿を変え、侍女たちは蟹に

ひめさま さが でんせつ
なってお姫様を探しているという伝説があります。

その2【^{はるなふじ}榛名富士と^{やま}ヒトモッコ山】

^{ふじさん}富士山と、^{ばん}ひと晩で^{たか}どちらが^{やま}高い山が^{きょうそう}つくれるか競争して
いて、^{あさ}朝になっ^のてしまい、^の乗せようとしていた「^{つち}もっこ」(土
^{はこ}を運ぶ^{どうぐ}道具) ^{がん}ひとつ^{のこ}分を残して^ま負けてしまったという^{でんせつ}伝説が
あります。この^{とき}時、^{きょうそう}競争していたのは^{てんぐ}天狗とも、^まダイダラボ
^{きょじん}ッチという巨人だともいわれていますが、^{きょうそう}競争に^ま負けて^{のこ}残っ
^{つち}た土の^{やま}山が「^{やま}ヒトモッコ山」、^{くや}悔しくて^な泣いた^{なみだ}涙が^{はるなこ}榛名湖に
^{でんせつ}なったという伝説があります。



▲榛名富士のすぐ横、ヒトモッコ山はここにありす



【参考】

『なるほど榛名学』

『まんが榛名の歴史』

『榛名町誌 自然編』

『野山の花をたずねて 榛名山編』



はるなこ はるなさん
榛名湖・榛名山

2026年5月1日 初版発行

編集・発行 高崎市立中央図書館
電話 027-322-7919
〒370-0829
群馬県高崎市高松町 5-28
